PET/CT がん検診を受けられる方へ

安全かつ正確な検診を受けていただくための、大切なご案内です。次のことをお守りください。

PET/CT がん検診の流れ

来院手続き
↓
看護師の問診（血圧測定・身体測定・血糖測定・説明）
↓
更衣　＊貴金属類は外してください。
↓

オプション、A コース、C コースの方：医師(専門医)の診察なし
B コース、D コースの方：医師(専門医)の診察あり

↓
↓
放射線管理区域(※)内に入室

※放射線管理区域とは、放射線の検査を受ける方と介助者及びスタッフのみが入ることができ、放射性医薬品の取り扱いができる、法律で定められた区域です。

↓
薬剤の注射
↓
薬剤の集積を待つため待機室で安静（約 60 分）
↓
排尿

正確なデータを得るために安静にしてお過ごしください。
また、排尿をすることでご自身の余分な被ばくを防ぐことができます。そのため、水分補給は十分に行ってください。

↓
PET/CT 撮影
↓
待機

画像確認のためと体内放射能が減衰するまで、お待ちいただきます。

↓
終了、放射線管理区域を退室
↓
会計、帰宅

検診終了後に自動支払機を利用してお支払いただきます。
なお、クレジットカードは暗証番号が必要となります。
ご使用可能なカード:MASTER・VISA・JCB・UFJNICOS・デビッドカード・AMEX(一部不可)

□　全体の所要時間は 2 時間半から 3 時間です。

□　注意点

・入室から退室までの間、放射線管理区域から出ることはできません。
・受診者の方専用のロッカーはありますが、高価なものはお持ちにならないようお願いいたします。
当院では、万が一受診者の方の持ち物が紛失した場合の補償はできかねます。
あらかじめご了承ください。

PET/CT がん検診の特徴

□ この検診では、「^{18}F-フルオロデオキシグルコース（FDG）」というがんや炎症に集まりやすい、放射性診断薬を腕の静脈に注射します。その後、専用の PET/CT カメラで撮影します。
FDG はブドウ糖に似た物質ですので、アレルギーの心配はありません。また、速やかに尿として排出され、体に残ることもありません。

□ 糖尿病や食後などで血糖値が高い（200mg/dl 以上）場合、画像が正確に評価できないことがあります。
この場合、医師の判断で本検診を中止または延期させていただく場合があります。

放射線被ばくについて

□ PET/CT がん検診 1 回あたりの被ばくの線量は、およそ 10～15mSｖ（ミリシーベルト）です。
これは一般的な胃のバリウム検査における被ばく線量の 4mSｖよりも若干多めですが、
これにより放射線障害が起きることはありません。
将来のがん発生につながる心配もありません。

□ この医薬品の放射能（放射線が出る量）は約 2 時間で半減していき、24 時間でほとんど消滅します。
※念のため、下記の基準をお守りください。
・授乳中の方は放射性診断薬注射後 24 時間以内の授乳は避けてください。
・妊娠中または妊娠の可能性がある方は、本検診を受けられません。

お食事について

PET/CT がん検診は、予約時間の 5 時間前から禁食です。

□ 検診予約時間の 5 時間前から、食事・糖分の含まれた飲み物・ガム・飴などは摂取をしないでください。万が一摂取された場合、検診が行えないことがあります。

□ 水やお茶など、糖分の含まれない水分の補給は、十分に行ってください。

※検診中にお飲みいただくお水は、こちらでご用意いたします。

内服薬等について

□ インスリン・血糖降下薬について
・検診予約時間の 5 時間前からの食事とインスリンの使用は診断に影響を与えます。
・午前予約の方は、当日の朝の血糖降下薬の内服・インスリン注射は中止してください。
・午後予約の方で、午前中にお食事をされた場合は、血糖降下薬の内服・インスリン注射を使用してください。
・効果が長く続くインスリン（持効型）をご使用の方は主治医の指示に従ってください。
・インスリン注射をしている方や、その他の低血糖対策が必要とされる方は、念のため
ペットシュガーなどをご持参ください。

□ 下剤は、診断に影響を与えるため、検診前日から内服をお控えください。

□ その他の内服薬は、通常通り内服してください。

運動について

□ 受診前日から当日の激しい運動(筋肉トレーニングのような運動)は避けてください。

PET/CT がん検診の結果について

□ A・C コースの方：検診報告書・レポート・画像データは後日ご指定の郵送先にお送りします。医師から説明を受けたい方は、虎の門病院の PET/CT 説明外来（別途料金、完全予約制）を受診して専門医による説明を受けていただくことができます。

□ B・D コースの方：検診報告書・レポート・画像データは後日ご指定の郵送先にお送りします。後日、専門医による説明(料金に含まれています)を受けていただくことができます。

その他

□ PET/CT がん検診では、放射線管理上、お一人での移動・待機をお願いしております。
難しい場合には、ご家族などによる介助をお願いいたします。

□ 以下に該当される方は、本検診を受けられない場合があります。
〇1 週間以内に胃のバリウム検査を受けられた方
〇極度の閉所恐怖症がある方
〇植え込み式除細動器をご使用の方

□ 放射性診断薬は専用の施設から虎の門病院に配送されます。配送は専門業者が時間的余裕を持って行います。
しかし、交通事情で配送に遅れが生じたり、工場の製造ラインにトラブルが発生した場合などは、開始が遅れたり、検診が行えないことがあります。
また、検査機器のメンテナンスには細心の注意を払っております。それでも、検査機器の突発的な故障により、予定通りの検診が行えないことがあります。
あらかじめご了承ください。

□ 個人情報保護に十分留意した上で、教育・研究目的に検診データを使用させていただく場合があります。

□ 【重要】PET/CT がん検診のキャンセルポリシー・検診の同意へのお願い】

PET/CT がん検診では、前営業日に、受診者お一人ずつ、その方用に放射性診断薬を注文します。別の方への転用はできませんので、当日にキャンセルをされますとお薬は無駄になってしまいます。そのため、大変恐れ入りますが、予約のキャンセルは、必ず 1 営業日前の 16 時までに核医学受付にご連絡をお願いします。それ以降にキャンセルをされた場合は、放射性診断薬の費用（50,000 円）をご負担していただいております。
また、本検診をお受けいただくにあたり、同封の「PET/CT がん検診に関する説明文書・意思確認書(本院放射線科用)」へのご署名をお願いします。ご不明な点、お聞きになりたいことがある場合は、必ず事前に核医学医師にご相談のうえ、ご署名ください。ご署名済みの「PET/CT がん検診に関する説明文書・意思確認書(本院放射線科用)」の当方の確認をもって予約完了とさせていただきます。

ご予約のキャンセルや医師にご相談したい場合は、下記にお願いします。
03-3588-1111(虎の門病院代表) 核医学受付（2060） 月～金 9:00～17:00 土日祝休み